

平成 21 年度町村議会表彰候補 審査結果報告

平成 22 年 1 月 13 日

全国町村議会議長会

会 長 野 村 弘 様

町村議会表彰審査会

委員長 佐 藤 竺

本審査会は慎重審査の結果、平成 21 年度町村議会特別表彰候補として下記 2 町村議会および町村議会表彰候補として下記 32 町村議会をそれぞれ選定しましたので報告いたします。

記

I 表彰候補町村議会名

1. 町村議会特別表彰候補

北海道今金町 岩手県滝沢村

2. 町村議会表彰候補

北海道沼田町 青森県三戸町 秋田県藤里町 山形県三川町 福島県南会津町
石川町 茨城県東海村 栃木県茂木町 群馬県板倉町 埼玉県三芳町 東京
都青ヶ島村 神奈川県寒川町 富山県上市町 石川県中能登町 長野県立科町
長和町 下諏訪町 坂城町 岐阜県坂祝町 三重県木曾岬町 奈良県吉野町 和
歌山県有田川町 岡山県奈義町 山口県阿東町 徳島県那賀町 香川県三木町
愛媛県内子町 高知県田野町 福岡県大木町 川崎町 宮崎県西米良村 沖縄
県北中城村

II 審査経過

本審査会は、(1)政策づくりと監視機能を十分発揮している議会、(2)住民に開かれた議会、(3)先駆的な取り組みをした議会の三つの重点項目による別紙の表彰審査方針を決定、これに基づき全国 47 都道府県の町村議長会に候補の推薦を依頼した。その結果 28 都道県町村議会議長会から計 34 の候補の推薦があり、これを本審査会で検討、全てを表彰候補とすることとし、さらに特別表彰候補として 2 議会を選定した。

全体としてみると、まず(1)政策づくりと監視機能を十分発揮している議会では、専門分野に関する研修の充実の取り組み例は多いが、専門的知見・公聴会の活用例はほとんどなく、参考人の活用や地方自治法第 96 条第 2 項の条例による議決事件追加、あるいは政策形成能力や行政監督能力充実のための議員同士の自由討論の実施などは事例が乏しい。

また、(2)住民に開かれた議会では、議会広報の充実、議会の実況中継、議会のホームページ

ジ開設などは多くの町村に見られるようになったが、委員会の完全公開の実施や休日・夜間議会の開催は少ない。住民との直接対話を目的とした住民懇談会・議会報告会の開催は昨年度よりは増えてきており、今後は全国的な取り組みとして広まるのが期待される。(今年度は34町村のうち13町村で実施)

さらに、(3)先駆的な取り組みをした議会では、過去に特別表彰を受章した北海道栗山町の「議会基本条例」や北海道白老町の「通年議会の導入」のような先駆的な取り組み事例は乏しい。ちなみに議会基本条例を制定している町村や現在制定に向けて取り組んでいる町村は、昨年度に比べ増えてはいるが、まだ全国的な展開とはなっていない。

特別表彰の審査では共通の特色に加えて他と違ったユニークな取り組みをしているところに注目した。

Ⅲ 特別表彰候補選定理由

○北海道今金町

今金町は、議会開設100周年記念事業の一つ、住民意見交換会で議会の活動が見えないという指摘を受けたことを発端に、住民に信頼され存在感のある議会になるための改革として議会改革調査特別委員会を設置し、議会活動のあり方や活性化について調査研究を行い、その内容を実践するため議会基本条例を平成19年3月に制定した。これに基づき町民会議（議員報告会）の開催（年1回）やナイター議会の開催（1日）、質問・質疑の一问一答方式の採用、議員相互間の自由討議の実施、法第96条第2項の条例による議決事件に基本計画など6項目追加、重要議案に対する議員の賛否や議会出席状況を議会広報で公開、役場ロビーでの議会中継、議場で常任委員会を開催し本会議同様に公開するなど多彩な取り組みが行われており、他の自治体からの視察も多い。

○岩手県滝沢村

滝沢村は、住民と議会議員との懇談会（年8回）を開催するとともに、会議録をはじめ各委員会記録や全員協議会記録、議長交際費の支出状況、政務調査費の支出内訳、議案に対する議員の賛否等をホームページ等に掲載、全ての委員会を本会議同様に公開、住民や傍聴者を対象に議会アンケートを実施し議会改革の参考とする、村内の岩手県立大学との共同取り組みにより庁舎内及び職員のパソコンへ議会ライブ中継を実施（平成22年1月からはインターネットによるライブ中継も実施予定）、平成21年12月からは自席でのボタン表決システムを導入し、議員一人ひとりの表決結果が大型画面に映され、その映像もインターネットにより広く中継する等議会情報の積極的な発信を行い、住民に開かれた議会として意欲的に議会の活性化に取り組んでいる。

この2議会の活動は、他町村の議会活性化への取り組みにも刺激を与え、他に範となるところが特に顕著であると高く評価できる。